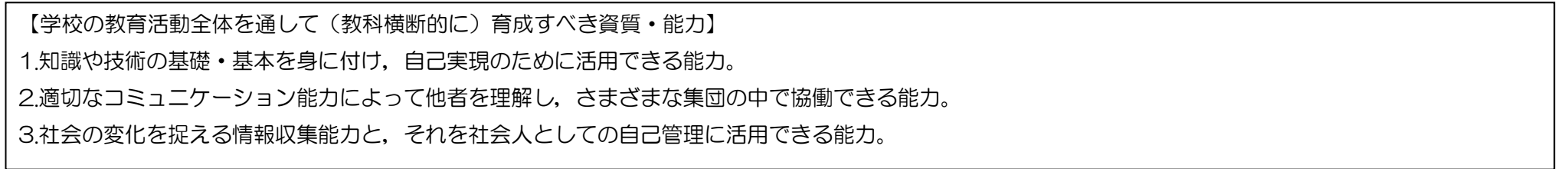
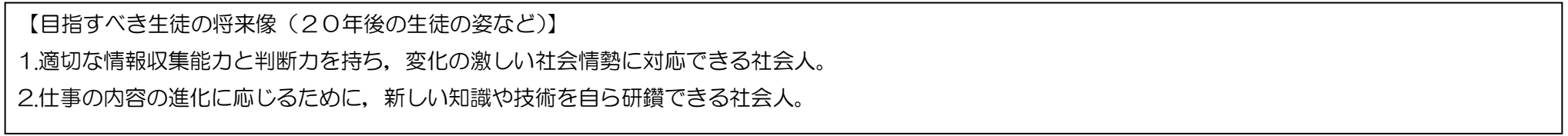
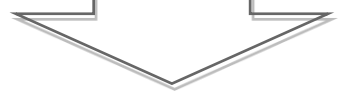


都立杉並工業高等学校 グランドデザイン



【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	
基礎学力	義務教育程度の基礎学力が身に付いており、高校で活用できる。	高校の基礎的な学力が身に付き、発展的な学習に取り組むことができる。	社会人として必要な基礎的学力が身に付き、社会生活の中で活用することができる。	
専門知識・技術	工業分野の基礎的な知識が身に付いており、基本的な作業を行うことができる。基礎的な資格を取得できる。	工業分野の基礎的な知識・技術が身に付いており、機械・設備を利用した作業を行うことができる。	工業分野の知識・技術を活用し、ものづくりの手順や作業を適切に判断して行うことができる。応用的な資格を取得できる。	
コミュニケーション能力	多様な価値観を認め、相手の考えを聞き、自分の考えを表現することができる。	相手の話の内容を理解し、自分との差異を理解したうえで、自分の考えを相手に理解させることができる。	多様な意見を理解し、自分の考えをもとに、多数が納得できる意見を取りまとめられるように努力することができる。	
判断力	善悪の判断がつき、高校生として節度のある行動が判断できる。	自分の個性や特徴を把握し、その場に応じた行動が判断できる。	自己実現のために収集した情報から必要なものを選別することができる。	
情報収集力	日常的な社会での主な出来事について、ニュースなどを通して把握することができる。	情報過多、メディア過多な状況を理解し、必要な情報は能動的に収集しなければならない必要性を理解し行動できる。	情報機器を活用して、自己実現を理解するための情報を収集し、活用することができる。	
自己管理能力	時間を厳守し、遅延なく計画的な行動ができる。授業に必要な物品や、提出物の内容や期限を管理し、適切に対応することができる。	学力を身に付けるために必要な、時間管理、健康管理、モチベーションの管理ができる。	将来の進路を見据え、自己実現のための目標を設定し、それに必要な行動取れるとともに、失敗について検証し改善することができる。	

目指すべき生徒の将来像
 2. 1. 適切な情報収集能力と判断力を持ち、変化の激しい社会情勢に対応できる社会人。
 仕事の内容の進化に応じるために、新しい知識や技術を自ら研鑽できる社会人。